

平成 23 年度県外施設見学研修会の開催

平成 23 年度の県外施設見学研修会は、平成 23 年 9 月 16 日～17 日にかけて愛媛県の財団法人愛媛県廃棄物処理センターとオオノ開発株式会社を訪問しました。

参加者は事務局 2 名を含めて 27 名でした。

この両日の天気は、あいにく台風 15 号の影響で 1 日目の午後から連続の雨でした。

第 1 日目（16 日）

朝、神戸集合の参加者を乗せたバスが発し、その後、姫路に立ち寄り、姫路集合の参加者を乗せて、一路、四国は伊予の国へ向けて走り出しました。四国へは児島・坂出ルートである、瀬戸大橋を通りました。瀬戸大橋からは、車窓から広がる島々の景色を楽しみました。四国に入って、しばらくして雨が降ってきました。昼食は、新居浜の「リーガロイヤルホテル新居浜」で取りました。

午後は、最初の訪問先である財団法人愛媛県廃棄物処理センター東予事業所の見学です。この財団法人愛媛県廃棄物処理センターは平成 5 年 9 月に県、市町村、民間団体（愛媛県産廃協会他 6 団体）が共同で設立しており、東予事業所は平成 12 年 1 月から焼却・溶融施設の操業を開始しました。その後、平成 22 年 6 月からは全国第 1 号の環境大臣の認定を受けて、微量 PCB 汚染廃電気機器等の処理に取り組んでいます。

施設はロータリーキルン式焼却溶融炉（直径 4m×長さ 12m）で市町村や民間企業における適正処理困難物を受け入れています。

年間の受入量は 2 万 5 千トンでそのうち PCB 関係廃棄物は 16.4 パーセントを占めています。微量 PCB 汚染絶縁油は、まず 50k リットのタンクへ入れられ、通常はこの

PCB 廃油を、他の焼却物と燃焼溶融処理しています。

微量 PCB 汚染絶縁油が封入された小型コンデンサー等は、設備の定期点検時期前に処理をすることとしています。これら説明を受けた後、雨が降っていたため、バスの中から事業所の施設を案内していただき見学しました。

また、これら焼却溶融処理から発生する溶融スラグである残滓物は、土木資材（アスファルト舗装用資材等）として活用し、溶融飛灰は山元還元により、銅、鉛などの有価金属の回収を行っています。（ただし、この残滓物等は、別会社で上記のような有価物への処理を行っているとのことでした。）



東予事業所の説明を聞く

（懇親会）

第 1 日目の宿泊先は、松山と言えば道後温泉と言われるぐらい有名な道後温泉郷の中のホテルルナパークです。懇親会には、地元の（社）愛媛県産業廃棄物協会の金子専務理事をお招きして、当協会参加者との交流を図り、様々な話題で盛り上がりました。

また、このホテルは、夏目漱石も幾度と

なく通ったという道後温泉本館(またの名を「坊ちゃん湯」)に近く、多くの方がこの湯も楽しみました。

第2日目(17日)

午前中にオオノ開発株式会社東温事業所を訪問しました。管理事務所は、小さな美術館を思わせるような建物で、裏にはカラフルなモニュメントが立っており、また、計量受付事務所もガラス張りで、その4角には自然石の柱がさりげなく立てられておりました。聞きますと社長様のモットーを具現化したものとのことでした。

この会社は、収集運搬から、中間処理、最終処分まで一貫した総合産業廃棄物処理業を営まれております。この東温事業所は300haほどの広大な敷地の中に、乾留式ガス化焼却炉、フライアッシュ改良リサイクルプラント、再生採石プラント、複合リサイクルプラント、安定型埋立処分場、管理型埋立処分場が点在しており、更には温泉や神社もこの敷地の中にあります。

管理型埋立処分場は遮水性をより安全側にするため、DSC工法(下地のモルタルにポリウレタン樹脂を直接吹き付けて密着させることにより、強固な遮水性を形成させる工法)やT&OHシステム(漏水検知システム)を採用しています。

管理事務所で説明を受けた後、雨の中広大な敷地をバスで案内していただき、見学しました。特大のダンプカーが行き来しており、道路敷きも、私たちの乗ってきた大型バスもあまり苦労することなく走れるぐらい広いものでした。

この事業所に入ってきた廃棄物は、資源として出て行くものはあっても、廃棄物として出て行くものはないとのことでした。

また、この事業所は社員の公募により「フレップとうおん(Frep Toon)」と愛称をされています。この意味は未来を切り拓くとの思いを込めたものとのことでした。

た。



熱心に説明を聞く参加者



オオノ開発(株)東温事業所のロビーにて

会社訪問の後は、神戸、姫路方面へと帰路につきました。途中、タオル生産で有名な今治のホテルアジュールで昼食を取りました。

帰り道は、3つの本四連絡ルートの中で一番景色がよいと言われている、6つの島を橋で渡る「しまなみ海道」(尾道今治ルート)を通りました。天の恵みかこの時、雨は小康状態で美しい景色を満喫しました。車中で知りましたが、高松自動車道は、途中土砂崩れの危険性があるとのことでした。

途中、あまり渋滞もなく、姫路までは予定どおり到着しましたが、神戸へは加古川バイパスで渋滞とのこと、少し遠回りをしました。ほぼ予定通り無事に到着しました。